

本高生としての自覚

(創立記念日に寄せて保護者への連絡とお願い)



右文尚武いそしみて

平成27年5月21日

保護者 各位

秋田県立本荘高等学校

校長 佐藤 一吉

創立記念日について

新緑の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校は来週5月28日に第113回目の創立記念日を迎えます。本校の80年史によりますと、明治33年に第4中学校として本荘に開設が決定し、明治34年7月に秋田県中学校規則により、第1、2、3、4中学校がそれぞれ一斉に秋田、大館、横手、本荘中学校と改称されました。その後、明治35年4月10日に秋田県立本荘中学校として創立、同年5月28日に開校式を行っています。

以来、本高ではこの日を創立記念日と定め、生徒は休業日としました。

本校の長い歴史、伝統と文化を振り返るとともに本高生として自覚と誇りを深め、そして自己の将来について真摯に考える日にしていただきたいと強く願っております。

保護者の皆様におかれましても創立記念日の意義を理解していただくとともに、ご家庭でご子息と時間をもたれ、有意義な一日としていただきたいと思っております。

また、本校ではこれからも生徒一人一人の自己実現に向けて適切な支援に取り組んでいきたいと考えております。よろしくごお願い申し上げます。

○ 何かご不明の点・お気づきの点がございましたらどうぞお申し出下さい。

(完)